



**成果に重点をおいて
予算の質を高める。理念を持って。**

**市長
の
理
念**

**垂水市の発展
市民の皆様の幸福**

国の動きについて

新型コロナウイルス感染症の影響により、日本経済のみならず世界経済も大きく変動し、先行きが見通せない状況であるものの、課題を克服した後の新しい未来における経済社会の姿の基本的方向性として、「新たな日常」を通じた「質」の高い経済社会を目指すこととしています。

令和2年12月8日に閣議決定された総合経済対策において、国民の命と暮らしを守るため、予算・規制・税制、さらには財政投融资を含むあらゆる政策手段を総動員した、力強い経済対策を講じることで、来年度中には、コロナ前の経済水準に回帰させ、民需主導の成長軌道に戻していくとされているところです。

地方財政は

令和3年度の地方財政対策では、新型コロナウイルス感染症の影響により、地方税等の大幅な減収となる中で、地方交付税総額は、令和2年度を上回る17兆4千億円（前年比+0.9兆円）が確保されましたが、さらなる地方の財源不足については、臨時財政対策債で補填される見通しです。

垂水はどうするのか

国の予算の状況を踏まえ、新年度の予算案は、各事業の成果に重点をおいて、予算の質を高めることで財政運営の健全化を図りつつ、子育て支援や高齢者対策、市民の安心安全に係るインフラ整備、現庁舎等の耐震診断に関連する事業費を優先して編成しました。

元気な 垂水づくり

特集
令和3年度施政方針

3つの挑戦

経済
Economy
詳細は P12

「地域資源を活かした
賑わいのあるまち」

安心
Care
詳細は P 8

「安心していきいきと暮
らせるまち」
「豊かな自然の恵みを次
世代へ受け継ぐまち」

未来
Future
詳細は P14

「次世代の担い手を育
成・支援するまち」

市長の姿勢

対話を重視



▲子うしせり市視察

積極的な情報発信



▲クラスターについての記者会見

国・県・近隣市町連携



▲錦江湾奥会議（平成31年）



◎令和3年第1回垂水市議会定例会では、令和3年度施政方針と予算案について、活発な議論が交わされたのち、議決（承認）をいただきました。
ご理解をいただきました市議会議員の皆様、ありがとうございました。